



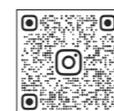
学校法人 東京キリスト教学園 東京基督教大学
〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5
TEL : 0476-46-1131 E-mail tcu@tci.ac.jp
URL <https://www.tci.ac.jp>



Facebook



LINE



Instagram



大学HP



TOKYO
CHRISTIAN
UNIVERSITY

東京基督教大学

2025
START

神学 × 国際 × 教養 クロスする学び

TCUは、1990年の設立以来、キリスト教リベラルアーツの精神を根幹に据え、「神学」と「国際」の深い学びを通じて、社会において積極的に福音を体現する人材を育成してきました。私たちは教会に仕える牧師を育てるだけでなく、幅広い社会で活躍するリーダーを送り出すという大きな挑戦を続けています。2025年から新たに開始する「神学・国際教養学科（計画中）」では、この挑戦をさらに進化させます。神学と国際教養を統合し、多様性に富む現代社会で柔軟に生き抜くための教養、国際感覚、コミュニケーション能力、そして神学的知識を身につけた、社会の破れ口に平和をもたらし、より良い未来へと導く変革者を育てることを目指します。

学びは、ただの知識の習得ではありません。生き方自体を問う探求です。歴史、神学、地域社会、そしてグローバルな視点からの多角的な洞察を交え、深く思索し続けるプロセス。これは、将来牧師として、または信徒として生きる全ての人にとって、不可欠な学びです。

ここ、TCUで、世界各国、日本本土から集まる学び手たちと共に、生き方を問い、共に新しい価値を築き上げていく旅に出ませんか。私たちは、多様性を受け入れ、それぞれの個性を尊重し合うコミュニティの中で、一人ひとりが真の意味で成長し、自己実現を果たすことを約束します。

教育目標

STAND 破れ口にキリストの平和を IN THE GAP

わたしの STAND IN THE GAP

墮落した民と、その民を滅ぼそうと憤る神との間に立ち、神の怒りを鎮めたモーセは、「破れに立った」人物でした(詩編106:23)。もし神からの召命がなければ、モーセは自ら進んで、誰もが避けたがるその仲介者の役割を担うことはなかったでしょう。現代社会では、「自分には関係ない」と考え、忙しい日々の中で問題を見過ごした結果として、私たち自身にも解決が困難な災難に直面しているケースが数多くあります。貧困、差別、気候変動など地球規模の複雑な問題だけでなく、日常生活や組織内の仕事における問題も含め、自ら解決に動くことが非効率であると見なされ、解決の責任を他者に委ねがちです。しかし、あえてこれらの問題に立ち向かうことこそが、Stand in the Gapが意味することだと思います。私たちが享受している自由や平等は、世界のどこかで不自由や不平等を経験している人々とながっているかもしれません。そうした想像力を働かせ、世界中の多くの尊い命の回復のために、モーセのように神に忠実に従い、小さな一歩を踏み出し、まず自分と周囲に良い変化をもたらすこと。そのような生き方を支える基盤として、TCUが存在していると私は考えています。

森田 哲也 准教授



私はこれまで、アジアの貧困国の農村部に住む子ども達を対象としたミニストーリーに参加する機会が何度ありました。その経験から貧困問題や教育を受けられない子どもたちがいること、環境問題や紛争などの国際問題に破れ口があると考えてきました。また国内においても、難民問題や入管問題など国際的な破れ口は多くあります。このような国際問題に対しキリスト者として向き合い解決のために考え続けること、そして困難の只中にいる人々に福音を伝えていくことこそが、私にとって破れ口に立つことなのだと思います。学びを通してあまりの問題の深刻さに愕然とすることもありますが、共に学ぶ信仰の仲間たちにいつも励まされています。

野原 テツエオ 伶人 総合神学科 グローバル・スタディーズ専攻4年

私にとってのStand in the Gapは「御言葉と人々の間」です。私は御言葉の真理を宣べ伝え、教会を建て上げるために神学の学びを始めました。TCUでは聖書を解釈するためにヘブライ語とギリシア語を学びますが、私自身が釈義をするときに一番大切にしていることは原語に触れることです。まだ学び始めたところで拙いながらも、説教準備のために原語で聖書を読んでいると必ずキラッと光る言葉が見つかります。この言葉を通して神様が私たちに伝えたいことがある！と信じて深めていくときに、神様の御思いに触れることができます。神様と私の間に立ってくださったキリストに倣い、御言葉と人をつなぐ働きをしていきたいと願っています。

竹沢 めぐみ 大学院修士課程教会教職コース2年



神学・国際教養学科(計画中)の特徴

神学・国際教養学科では、キリスト教に根ざしたリベラルアーツ教育、世界に開かれたグローバルな教育、そして教会と社会に奉仕する教職者の養成という、3つの重要な分野を融合させたユニークな学びを提供します。この学科は、それぞれの専門性を深めると同時に、これらを一体的に統合することをめざしています。世界中から集まる学生たちとの対話を通じて、自らの信念を深め、多様な視点を持つことで、広い意味での教養人として、また、社会に積極的に貢献するクリスチャンとして成長することができます。

Christian Liberal Arts

キリスト教リベラルアーツ

真理を探究する学び

「キリスト教リベラルアーツ」は、全世界を治めるキリストのもと、すべての事象に深い意義があるという理解に立ち、真理を追求します。信仰と学問の統合をめざし、聖書、神学だけでなく、思想、歴史、芸術、文化、古典に至るまで、幅広い知識を学びます。これらの学びは、激動する現代社会を「地の塩」として生き、神に仕える人々を支えるものです。



Global Studies

グローバル教育

異文化と共に生きる力

TCUのグローバル教育は、世界にある人々の痛みを和らげ、神の愛と平和を実現することを使命としています。異文化理解と協働のスキルを身につけ、社会問題を多角的に分析し、創造的な解決策を実行に移す能力を育てます。キャンパス内外での異文化経験、福祉の実践を通じ、「他者と共に生きる」学びを深めます。

Church Ministry Program

教会教職者養成

時代に応える神の働き人

明確な召命感を持ち、聖書と現代社会を橋渡しする福音主義神学に基づく教育を提供します。学生は、教会と社会の双方に奉仕するための深い理解と熱意を育みます。時代のニーズに応え、社会の「破れ口」に立つ者となるよう訓練されます。また、ユース世代に福音を伝えるための学びも大きな特長です。



My schedule at TCU

新しい自分に出会い、新しい世界に出会い、新しい神さまの恵みに出会う。
新しい発見に満ちた、かけがえのない一週間でTCUにあります。

友人とともに暮らし、
ともに学びあうことができます。

森谷 恵太 総合神学科 神学教養専攻3年

weekly schedule

	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
朝		朝食	朝食	朝食 掃除	朝食	朝食	
1限				デポーション		韓国語Ⅱ	
2限							
昼休み	教会実習	ランチ	チャペル ランチ	チャペル ランチ	チャペル ランチ	チャペル ランチ	昼食&バイト に行く準備
3限		寮	組織神学Ⅱ	グローバル・ スタディーズ 入門	キリスト教 福祉Ⅲ (人間の 尊厳と自立)	寮でゆっくり	
4限							アルバイト
5限		課題	寮でゆっくり 課題	社会科学Ⅳ (心理学Ⅱ)		課題	
6限	フリータイム						
夜 (サークル 委員会等)	夜ご飯	夜ご飯 アルバイト	夜ご飯 アルバイト	夜ご飯 祈禱会	夜ご飯 バスケ サークル	夜ご飯 アルバイト	夜ご飯

oneday schedule

登校

パソコン、ノート、筆記用具
など、授業に必要なものをも
って教室へ行きます。

8:40



チャペル

先生のメッセージを聞き、霊
的に静まり、神様に心を向け
る時に、午後からの活動を頑
張ることができます。

11:20



ランチ

友人とご飯を食べることは、
お互いにとって良い交わり
の時となります。

11:50



授業

しっかり集中して先生の話を
聞くと、成績も学びの質も
上がります。

13:00



友人と勉強

友人とお互いに教えあい、
励ましあいながら、勉強して
います。

17:00



oneday schedule

授業

TCUの授業は「信仰者とし
て生きる」ことに繋がります。
学びの楽しさを日々先生
や学生とともに味わえます。

9:50



チャペル

忙しい一日の中で、決まった
時間にチャペルに集まり、神
の御言葉に聞くことは貴重
な休息の時です。

11:20



ランチ

学年や立場を問わずに、色ん
な人と交わりを持って、とて
も楽しい時間です。先生とラ
ンチを一緒に過ごすことも!

11:50



自習

集中するために、食堂や図書
館、自室など、色んな場所で
自習します。息抜きのおやつ
タイムは必須です。

16:00



寮

友人と時間を過ごしたり、一
人でゆっくりと過ごしたり、
色んな過ごし方ができます。

17:00



「信仰者として生きる」ことを
授業と生活から学んでいます。

齋藤 真依 総合神学科 教会教職専攻4年

weekly schedule

	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
朝							
1限		茶道部 お稽古					
2限	教会実習		ヘブライ語Ⅱ			ヘブライ語Ⅱ	
昼休み		ランチ	チャペル ランチ	チャペル ランチ	チャペル ランチ メドークラス	チャペル ランチ	交わり、休息、 カフェで 勉強、 外出 etc.
3限		寮	メッセージ の方法と 実践/説教 演習Ⅰ	聖書学Ⅳ (預言書・ 聖文書)	信条学 聴講	図書館で 自習	
4限		課題					
5限	自宅	専門演習 (グローバル)		日本 キリスト 教史	図書館 アルバイト	専門演習 (教会教職Ⅰ)	
6限							
夜 (サークル 委員会等)	夜ご飯	図書館 アルバイト	図書館 アルバイト	祈禱会 (実習教会)	委員会 MTG		



Graduate

2023年卒 財団法人 太平洋放送協会職員
後藤 みなとさん

神のことばに立って神のことばを届ける、放送伝道の働き

私が働いている太平洋放送協会(PBA)は、福音番組を制作し、ラジオやテレビで放送する宣教団体です。国際キリスト教学科での、国際関係や社会問題をキリスト教世界観に立って考えるという4年間の学びを通して、厳しい現実のはざまに神のことばを持って立つことを学びました。形は異なりますが、放送を通して教会に伝え、人に伝え、主に仕える中で、いつも神のことばに立つというTCUでの学びが助けになっています。



Graduate

2017年卒 高校生聖書伝道協会(hi-b.a.)スタッフ
水梨 郁河さん

福音を肌で感じさせるキリスト者

言葉が溢れる現代、御言葉を信じることは簡単なことではありません。私が奉仕をしているhi-b.a.は、高校生にみことばを通して福音を伝える働きをしています。高校生が信仰を持って歩んでいくためには、みことばをただ伝えてくれる人ではなく、御言葉を体現する人や教会、コミュニティが必要です。TCUでは、ただ机上の神学に留まらず、学んだことを実践する共同体、クラスメイト、奉仕教会があります。「福音を肌で感じさせるキリスト者」を育てるTCUでの学びが宣教の働きに生かされています。



Message

2022年卒 株式会社ライフワークス社
山本 佑吾さん

葬儀がひとつのきっかけとなれるように願って

私は現在、人の死に一番近い仕事であろう葬儀業界で働いております。日頃からご遺族の深い悲しみに寄り添い、最後の思い出に残る、感動できる葬儀を作り上げていけるよう努力しております。TCUには牧師だけでなく、社会の中で生きるクリスチャンの方々もたくさんおられます。私も社会の中で生きるクリスチャンとして、私がお手伝いする葬儀が、神様にお会いできるひとつのきっかけとなればと願っております。



Message

2018年卒 日本同盟基督教団 土浦めぐみ教会 TEENS主事
塩野 明美さん

視野が広げられる学び

TCUでは、様々な授業、教会実習、寮生活などを通して、「愛する」「仕える」ということを実践的に学ぶことができました。また、神と人と自分と教会と向き合う時となり、教会・教団・宣教への視野と交わりも広げられ、伝道者としての土台が築かれる4年間でした。様々な先生や考古学や聖書原語、ユースミニストリーなどの授業を通して多方面から聖書を学べたことも、今、教会での中高生礼拝や、ユース宣教の働きの助けとなっていることを実感しています。